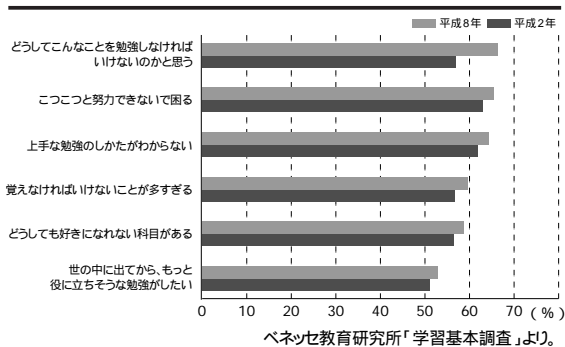


data

data for academic and career counseling

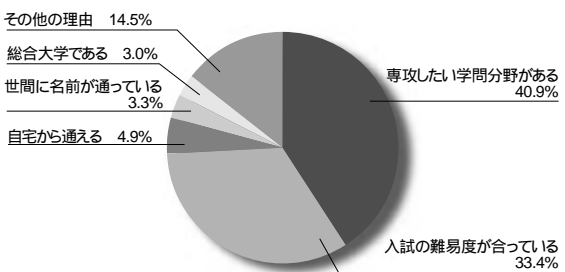
保護者会では、現代の高校生像とそれを取り巻く教育環境への理解を求めていく。わずかに数時間の保護者会ですべてを説明することは不可能なので、その分、資料の重要性は高い。

高校生の勉強上の悩み



自分がなぜ勉強するのかわからない高校生が増えている。自分なりにこの答えを見つけないと、粘り強い姿勢での学習は難しい。

高校生が大学選択の際に最も重視したこと



ベネッセコーポレーション調べ。

大学を選ぶ際に最も多くの大学生が重視したのは、学びたい学問を専攻できるかどうか。充実した大学生活を過ごすためにも、生徒のこの視点をより深めさせたい。

大学の初年度納付金

国立大	（円）		
	授業料	入学料	合計
10年度	469,200	275,000	744,200
11年度	478,800	275,000	753,800

私立大	（円）			
	授業料	入学料	施設設備費	合計平均
文科系学部平均	668,044	274,847	154,473	1,097,364
理科学部平均	897,941	286,537	228,570	1,413,048
医歯系学部平均	2,928,263	901,131	962,816	4,792,210
その他の学部平均	865,945	325,343	245,738	1,437,026
全平均	770,024	290,799	191,040	1,251,863

文科系(文・教育・神・仏教・社会福祉・法・商・経) 理科学系(理・工・薬・農・獣医) 医歯系(医・歯) その他(家政・芸術・体育)

文部省資料より。

国立大と私立大の学費の差は文科系学部では、以前ほど大きくはない。しかし、医学部や歯学部、理・工学部などでかなりの差がある。

日本育英会奨学金採用条件（平成11年度より改定）

貸与月額	国立大・短大	私立大	私立短大
自宅通学	40,000円	49,000円	48,000円
自宅外通学	46,000円	59,000円	55,000円

出願のための学力基準	
予約採用	高校1年次から出願時までの成績が、評定平均値3.5以上
大学1年	高校2年次から3年次の成績が、評定平均値3.5以上

予約採用とは、高校3年の1学期に出願して、進学と同時に貸与を開始すること。評定平均値とは、全教科・科目の学内成績基準値。

従来の第二種奨学金は平成11年度以降、「きぼう21プラン奨学金(第二種学資金)」として発足予定。「きぼう21プラン奨学金」の内訳など、詳細については、日本育英会へ問い合わせください。

日本育英会問い合わせ先
tel 03(3269)4261(大代表) http://www.ikuei.go.jp

日本育英会奨学金には、出願のための条件として、学力のほかに家庭の収入限度額が定められている。また、大学合格後に入願するケースが一般的だが、高校3年の1学期に予約採用に出願することもできる。

充実した保護者会資料を作るための四つのポイント

- 複雑な国立大入試のスケジュールを解説**
国立大入試のスケジュールを解説する際には、「前期・公立大中期・後期の三つの日程があり、受験のチャンスは最大3回あるが、第1志望は前期日程で受験しなければならぬ」ということを理解してもらったことが重要になる。
- 入試科目は大学によってさまざまであることを伝える**
国立大、私立大を問わず、入試で課される科目とその配点は各大学によって大きく異なる。受験する入試の内容を理解して、それに合った対策を立てることが求められることを伝える。
- 保護者の関心事である進学費用を解説**
進学費用は保護者にとって大きな関心事である。国立大、私立大でそれぞれどれくらいの進学費用が必要になるか、また、保護者の負担軽減の一助となる日本育英会などの奨学金制度を紹介する。
- 変わりつつある高校生像への理解を求める**
高校生の学習、進路に対する意識が希薄になってきているといわれる今、その現状を保護者に正しく理解してもらい、学校と家庭が一体となって生徒を支援する姿勢が求められることを伝える。

P.10からの「実践ガイド」では、保護者会実施のポイントを取り上げます。合わせて活用ください。

国立大一般入試の実施例（配点は例）

センター試験	2次試験	合否判定
A大学の場合 英語200 理科100 地歴100 国語200 数学200 計800点	前期(または後期、公立大中期日程) 英語300 国語300 計600点	センター試験と2次試験の成績で判定(センター、2次の配点比率、必要な科目は大学により異なる)
B大学の場合 英語50 理科50 地歴50 国語50 数学50 計250点	2段階選抜 国語200 数学300 英語200 理科300 計1000点	センター試験と2次試験の成績で判定(センター、2次の配点比率、必要な科目は大学により異なる。センターの結果は2段階選抜に使用)
C大学の場合 0点 実際は5教科受験	2段階選抜 英語200 理科500 数学500 計1200点	2次試験の成績だけで判定(センター試験の結果は2段階選抜のみ使用)
D大学の場合 英語200 国語200 数学200 計600点		センター試験の成績のみで判定

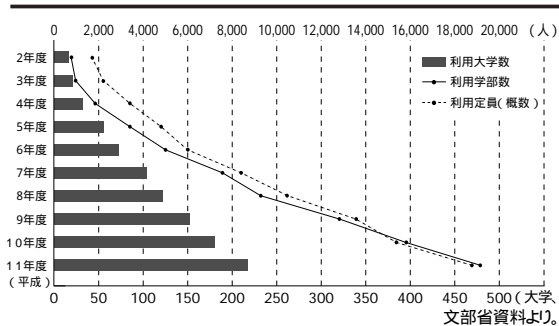
国立大はセンター試験と2次試験の総合評価で合否を決める。多くの場合、A大学的方式で入試を実施している。なお、B大学、C大学の2段階選抜とは、センター試験の成績で2次試験の受験者を制限する制度。

私立大入試の実施例（配点は例）

A大学の場合	B大学の場合	C大学の場合
個別試験 英語100 国語100 地歴100 計300点	個別試験 英語100 国語100 地歴100 計300点	センター試験 英語100 国語100 地歴100 数学100 理科100 計500点
合否判定 一つの個別試験で入学者を選抜	合否判定 大学独自の個別試験とセンター試験を利用した入試でそれぞれ入学者を選抜	合否判定 大学独自の個別試験を異なる入試科目で3種類実施し、それぞれで入学者を選抜

私立大の入試は、国立大に比べるとさまざまなパターンがある。C大学のように入試科目が異なる個別試験を複数回実施しているところも多い。このような大学では、受験日が異なれば、同じ大学、学部・学科の入試に複数回挑戦できることがある。

センター試験利用私立大数の推移



センター試験を利用する私立大の数は年々増えている。それらの大学のほとんどは独自の試験を課さないため、センター試験のみで合否が決まる。ただし、募集人員が一般的に少ないため、狭き門の入試となる可能性が高い。

国立大入試のスケジュール（12年度）

一般入試	推薦入試
10月 中旬から センター試験出願受付	11月 1日から センター試験を課さない推薦入試出願
12月 中旬まで 各大学募集要項発表	中旬から センター試験を課さない推薦入試実施
1月 15, 16日 センター試験実施	12月 上旬から センター試験を課す推薦入試出願
24日から 2次試験出願受付	1月 下旬まで センター試験を課さない推薦入試合格発表
2月 25日から 前期日程試験実施	下旬から センター試験を課す推薦入試実施
3月 6日から 前期日程合格発表	2月 中旬まで センター試験を課す推薦入試合格発表
8日から 公立大中期日程試験実施	
12日から 後期日程試験実施	
15日 前期日程合格者入学手続き締め切り	
20日から 公立大中期・後期日程合格発表	
27日 公立大中期・後期日程合格者入学手続き締め切り	

一般入試の2次試験は前期、公立大中期、後期の3日程で行われる。国立大は最大3校受験できるわけだが、前期日程に合格し、入学手続きをした人は、ほかの日程では出願できない。つまり、第1志望は前期日程で受験しなければならぬ。

私立大入試のスケジュール（12年度）

一般入試	推薦入試
10月 中旬から センター試験出願受付	9月 上旬から 指定校制入試出願
12月 中旬まで 各大学募集要項発表	11月 上旬から 指定校制入試校内選考公募制入試出願
中旬まで 個別試験出願受付	
1月 15, 16日 センター試験実施	中旬から 指定校制・公募制入試実施
中旬から 個別試験実施	
2月 下旬から 2期入試実施	12月 中旬まで 指定校制・公募制入試合格発表

私立大の一般入試のピークは、1月末から2月。しかし、2月の下旬から2期入試(3月入試)を行う大学も最近増えており、受験期は長期化している。推薦入試の実施は、国立大に比べてかなり早めである。